

渡辺議員（広志会）

令和3年2月22日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）県立高等学校の再編整備に係る地元への説明について

事実確認として聞いておくが、地元から聞き及んで「数日前に関係者に結論の通達をただけで説明をしたと明言している」という話は事実か、また、教育委員会の言われている「説明」とは、どのような説明なのか、さらに、いつ、誰が、どのような手法でされたのか、併せて教育長に伺う。

（答）

今後の県立高等学校の在り方につきましては、平成26年2月に策定した基本計画において、中山間地域以外の地域について、

- ・ 1学年4から8学級の範囲内を基本とし、
- ・ 生徒急増期に学校が新設された後、生徒減少に転じた後も学校数がほとんど変わっていない状況であることから、今後の生徒数の減少に対しては、1学年4から8学級規模の学校を含め、統廃合を検討する

旨の方向性をお示ししているところでございます。

学校関係者への説明につきましては、両校の生徒や、御支援をいただいている学校運営協議会会長、PTA会長、同窓会会長といった方々に対して、生徒数の減少や学校を取り巻く状況を踏まえ、生徒募集停止の検討対象校となっていることなどについて、どなたに何月何日にお伝えしたかにつきましては、今は手元にはございませんけれども、教育委員会会議決定前の1月上旬に、校長を通じて、説明したところでございます。

なお、これまでの生徒募集の停止の場合におきましても、おおむね同様の時期に、同様の対応を行っております。